

# 共に造る人・・・共造人・・・

ともにつくるひと・・・くぞうじん・・・

## 有限会社室工務店が考える建築技術者

有限会社室工務店は「こだわりのある家づくり」をスローガンとして、京都で昭和44年に創業し平成15年に法人化、現在の代表のもと、住宅の新築工事および建て替え工事、増改築工事に至るまで建築一式工事、大工工事を主体に総合的にしております。

先代から大工工事を施工しながら現場を動かす。いわば「棟梁が現場を動かす、町屋の工務店」としてやってまいりました。しかし近年の住宅建築事情に変化が伺えます。自然環境の変化。仕様、様式の変化。構造体の耐力の考え方の変化。仕様材料の変化により施工方法、技術の変化。などお客様が求められている町の工務店のあり方が目に見えて変化しており、それに適応していかなければなりません。適応することでこれからご縁のあるお客様、いままで施工させていただいたお客様とお付き合いしていただける工務店かと考えます。

それがお客様と共に財産を作らせていただく「共造人」だと思います。

それゆえに弊社が考える建築技術者の「大工」という職種は大工の標準的な技術は当然必要ですが、会社と一体となり現場を管理し統括する「管理術の向上」が絶対必要と考えます。特に若い方に言うのですが、鑿（のみ）、鉋（かんな）、鋸（のこぎり）使い等の技術も一様に知るべきですが弊社はこう考えます。「今を知って、過去を学ぶ」です。その逆で「過去を知って、今を学ぶ」とありますがそれは「個人学習」であり仕事時間以外にする事だと考えます。いふならば「のみ、かんな、のこぎり使いの上達より今与えられた仕事を確実にこなす能力と技術を学ぶ」ということです。伝統技術の習得には大変な下積みが必要となります。あせらずじっくり習得していくことが何より大切だと考えます。そうすれば絶対習得できます。

これが弊社の考える、お客様の財産を造る技術者だと考えます。

京都 こだわりのある家づくり

有限会社 室工務店 代表取締役 室 忠一